

1. 総論

【総括判断】「管内経済は、新型コロナウイルス感染症等の影響がみられるなか、不安定ながらも緩やかに回復している」

項目	前回（4年1月判断）	今回（4年4月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症等の影響がみられるなか、不安定ながらも緩やかに回復している	新型コロナウイルス感染症等の影響がみられるなか、不安定ながらも緩やかに回復している	→

（注）4年4月判断は、前回1月判断以降、4月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、感染症の影響を受けるサービス消費等で弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、供給面での制約等の影響がみられるなか、自動車関連を中心に回復の動きに一服感がみられる。雇用情勢は、感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。

【各項目の判断】

項目	前回（4年1月判断）	今回（4年4月判断）	前回比較
個人消費	一部に弱さがあるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱さがあるものの、緩やかに持ち直している	→
生産活動	緩やかに回復している	供給面での制約等の影響がみられるなか、自動車関連を中心に回復の動きに一服感がみられる	↘
雇用情勢	感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	→
設備投資	3年度は増加見込み	3年度は増加見込み	→
企業収益	3年度は増益見込み	3年度は増益見込み	→
住宅建設	緩やかに持ち直しつつある	緩やかな持ち直しの動きがみられる	→
公共事業	前年を下回っている	前年並みとなっている	↗
輸出	緩やかに増加している	緩やかに増加している	→

【先行き】

先行きについては、経済社会活動が正常化に向かう中で、景気が緩やかに回復していくことが期待される。ただし、国内外での新型コロナウイルス感染症の状況や海外情勢の変化等の先行き不透明感がみられる中で、原材料価格等の上昇による企業収益や個人消費への影響、供給面での制約による経済活動の停滞等の下振れリスクに十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「一部に弱さがあるものの、緩やかに持ち直している」

スーパー販売は、主力の食料品を中心に堅調となっている。コンビニエンスストア販売は、入店客数が回復しつつあることから、緩やかに持ち直している。ドラッグストア販売は、調剤部門の持ち直しや新規出店効果もあり、増加している。百貨店販売は、入店客数が回復しつつあることから、持ち直している。家電大型専門店販売は、横ばいの状況となっている。ホームセンター販売は、横ばいの状況となっている。乗用車販売は、供給面の影響により、弱含んでいる。旅行取扱高は、国内向けの一部に動きがみられるものの、依然として厳しい状況が続いている。

(主なヒアリング結果)

- 新規出店効果のほか、感染拡大の影響による受診控えが解消されつつあり、調剤売上の持ち直しや、化粧品売上の回復から売上が増加している。(ドラッグストア、大企業)
- 客足、売上ともに感染者数がピークアウトした2月下旬あたりから緩やかに回復してきており、特に外商顧客を中心に高級衣料や時計・宝飾品等の高額品が売上を牽引している。(百貨店、大企業)
- 受注は、堅調に推移しているものの、納車遅れにより販売台数は低水準で推移している。受注残も積み上がっており、例年通り納車されたとしても解消は困難。(乗用車、中堅企業)
- まん延防止等重点措置が解除されて以降は、来店客が増加しており、予約も徐々に戻ってきている。行き先も北海道などの人気観光地になっており、感染拡大前の傾向に戻りつつある。(旅行、中小企業)
- 新規感染者数の減少やまん延防止等重点措置の解除により、客足は徐々に戻りつつあるが、感染拡大前にみられた年度末の歓送迎会などの需要はほとんどない状況。(飲食サービス、大企業)

■ 生産活動 「供給面での制約等の影響がみられるなか、自動車関連を中心に回復の動きに一服感がみられる」

自動車関連は、供給面での制約等の影響がみられるなか、増加の動きに一服感がみられる。オートバイは、輸出向けを中心に緩やかに回復しつつある。航空機体部品は、海外航空機メーカーが大幅に減産したことから、悪化している。金属工作機械は、国内外の受注が堅調に推移していることから、生産は緩やかに回復している。半導体集積回路は、緩やかに増加している。液晶は、弱い動きとなっている。プラグは、横ばいとなっている。開閉機器、電動機ともに、緩やかに持ち直している。普通鋼、特殊鋼ともに、弱含んでいる。

- 半導体等の部材不足の影響により、計画通りの生産が出来ない状況が続いている。今後も先行き不透明な状況が続くと見込んでいる。(輸送機械、大企業)
- 半導体製造装置向けを中心に国内外の受注が増加している。他業種との競合で派遣従業員等の確保が難しいことから、休日出勤や残業時間を増加させることで工場稼働率を上昇させている。(生産用機械、大企業)
- 部材不足等の影響により一部完成品メーカーからの受注は弱含んでいるものの、他製品向けの生産に振り替えることにより、稼働率を落とすことなく操業している。(電子部品・デバイス、大企業)
- 国内外から半導体製造装置向けを中心に受注が増加しており、稼働率は上昇しているものの、部材調達が不安定な状態が続いている。(電気機械、大企業)
- 完成車メーカーの増産対応に備えて在庫を積み増していたものの、足下で受注が減少しており在庫を保有することが困難となっているため、稼働率を落として操業している。(鉄鋼、大企業)

■ 雇用情勢 「感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある」

新規求人数が増加傾向にあり、有効求人倍率は上昇していることから、緩やかに持ち直しつつある。

なお、完全失業率は低水準である。

- 今後の増産に備えて人員を募集しているが、人の集まり具合はあまりよくない状況が続いており、同業者も多いことから取り合いのような状況になっているのではないかと。(輸送用機械、大企業)
- 宿泊・飲食サービス業で、感染症の収束を期待し、3月以降の春休みや行楽シーズンに備え、2月の段階で人手を前もって確保しておこうという動きが見られた。(労働局)
- 製造業の人手不足により、製造業向けの派遣業からの求人が増加している。(労働局)
- 長引く感染症の影響により、需要が落ち込んだため、早期退職や事業規模の見直しを実施したところ。(サービス、中堅企業)

- **設備投資** 「3年度は増加見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」4年1-3月期
 - 製造業では、情報通信機器や窯業・土石などが減少となるものの、輸送用機械や電気機械などが増加となることから、増加見込みとなっている。
 - 非製造業では、サービスや建設が減少となるものの、運輸などが増加となることから、増加見込みとなっている。
- 感染症による先行き不透明感はあるものの、継続的な需要の高まりが見込まれる半導体関連等の分野への投資は積極的に行っていく。(電気機械、大企業)
- **企業収益** 「3年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」4年1-3月期
 - 製造業では、食料品が減益となるものの、輸送用機械や窯業・土石などが増益となることから、増益見込みとなっている。
 - 非製造業では、建設が減益となるものの、サービスや卸・小売などが増益となることから、増益見込みとなっている。
 - **企業の景況感** 「『下降』超となっている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」4年1-3月期
 - 景況判断BSIでみると、全産業の現状判断は、製造業で窯業・土石が「下降」超に転じたことや、非製造業でサービスや卸・小売が「下降」超に転じたことなどから、「下降」超に転じている。また、先行きは「上昇」超に転じる見通しとなっている。
 - **住宅建設** 「緩やかな持ち直しの動きがみられる」
 - 持家が減少しているものの、貸家、分譲住宅が前年を上回っていることなどから、緩やかな持ち直しの動きがみられる。
 - **公共事業** 「前年並みとなっている」
 - 前払金保証請負金額でみると、県、国は減少しているものの、独立行政法人等、地方公社等が増加していることから、前年並みとなっている。
 - **輸出** 「緩やかに増加している」
 - 輸出(円ベース)は、緩やかに増加している。なお、輸入(円ベース)は、前年を上回っている。
 - **企業倒産** 「件数は前年を下回っている」

3. 各県の総括判断

	前回(4年1月判断)	今回(4年4月判断)	前回比較	総括判断の要点
愛知県	新型コロナウイルス感染症等の影響がみられるなか、不安定ながらも緩やかに回復している	新型コロナウイルス感染症等の影響がみられるなか、不安定ながらも緩やかに回復している	➡	個人消費は、感染症の影響を受けるサービス消費等で弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、供給面での制約等の影響がみられるなか、自動車関連を中心に回復の動きに一服感がみられる。雇用情勢は、感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。
静岡県	新型コロナウイルス感染症や供給面での制約等の影響により一部に弱さがみられるものの、持ち直している	新型コロナウイルス感染症や供給面での制約等の影響により一部に弱さがみられるものの、持ち直している	➡	個人消費は、感染症の影響を受けるサービス消費等で弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。生産活動は、供給面での制約等の影響がみられるなか、自動車関連が持ち直しに向けたテンポが緩やかになっているものの、金属工作機械等を中心に持ち直している。雇用情勢は、感染症の影響がみられるなか、横ばいの状況にある。
岐阜県	新型コロナウイルス感染症等の影響がみられるなか、不安定ながらも持ち直している	新型コロナウイルス感染症や供給面での制約等の影響がみられるなか、持ち直しのテンポが緩やかになっている	➡	個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、横ばいの状況にある。雇用情勢は、感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。
三重県	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況があるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症や、供給面での制約等の影響により、持ち直しのテンポが緩やかになっている	➡	個人消費は、緩やかに持ち直しているものの、一部に弱い動きがみられる。生産活動は、自動車関連で持ち直しの動きに足踏みがみられることから、全体では持ち直しのテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、一部に厳しさが残るものの、改善に向けた動きがみられる。